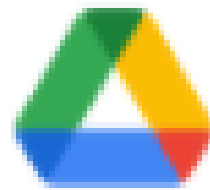


Googleドライブの活用



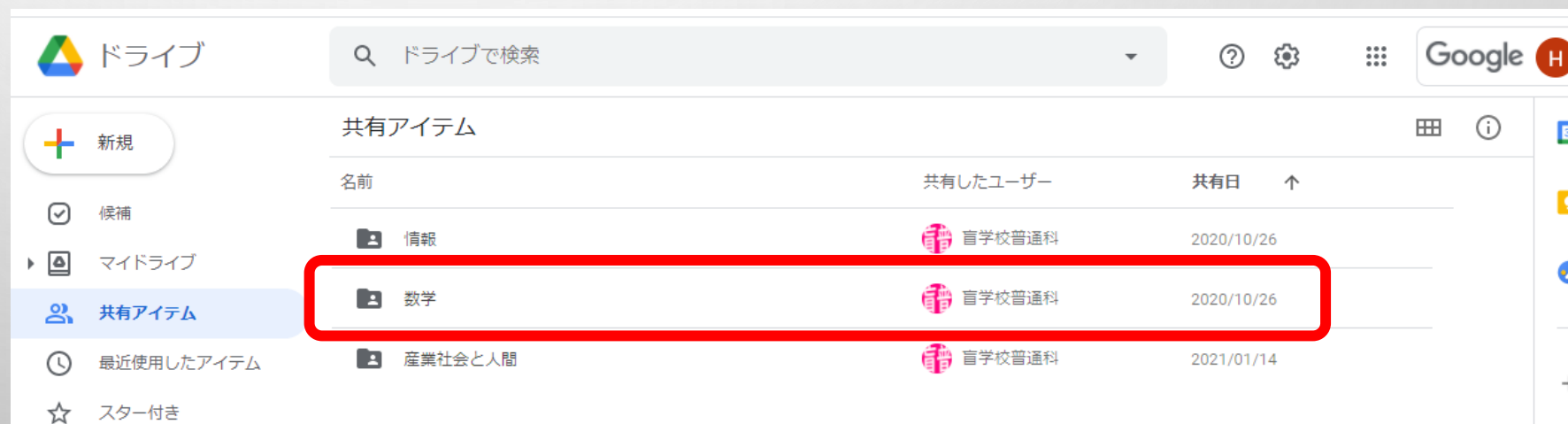
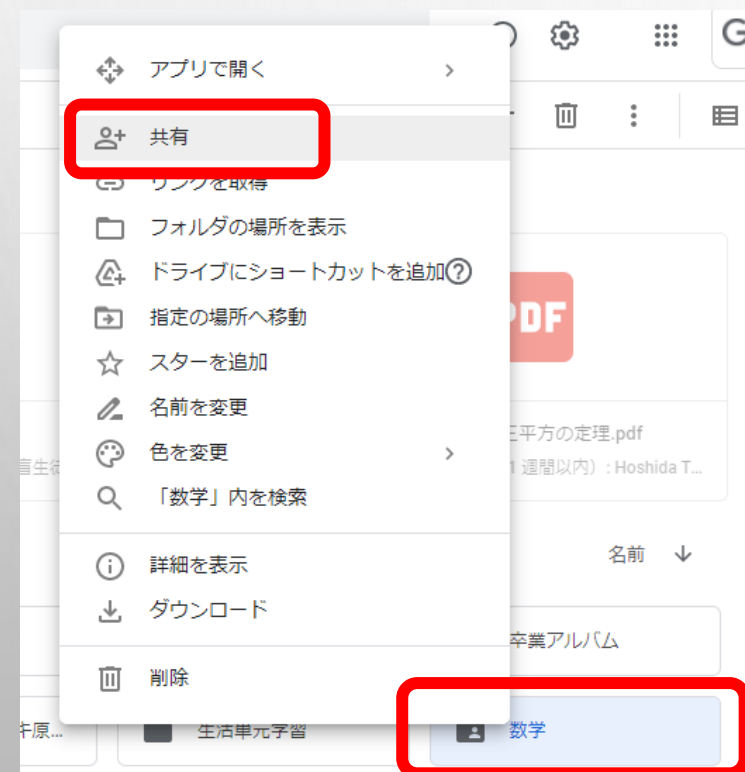
ドライブ

- 作成した教材資料を紙面だけではなく、データでも配布した例です。
- 今回はドライブを活用した紹介ですが、Google Classroomでもデータの配布や提出も行えます。

(準備2) 各教科のフォルダには教科担当教諭を共有設定

→自分のアカウントのドライブからも入れる。

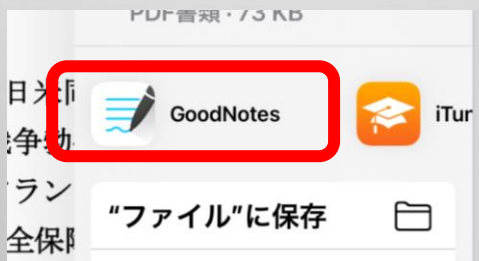
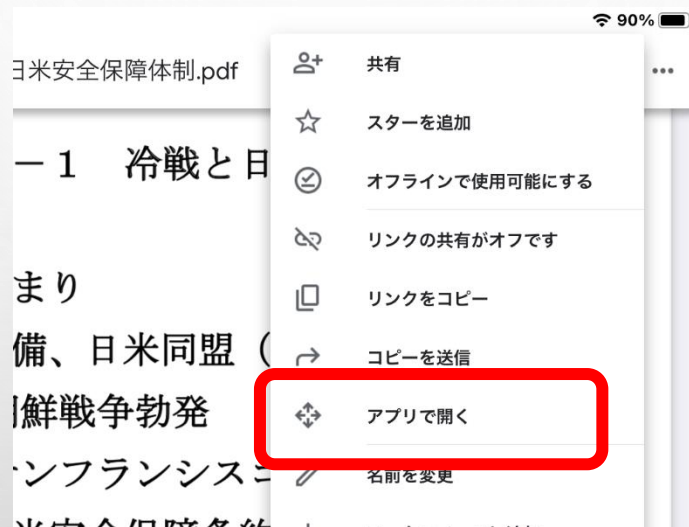
数学フォルダに数学教諭のアカウントを共有したので、数学教諭のGoogleドライブから普通科共有アカウントの数学フォルダへアクセスが可能となる。



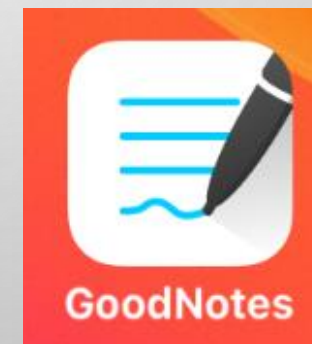
(準備3) 各教科内に更に各科目のフォルダを作成し、科目フォルダに受講している生徒のアカウントを共有設定。



(活用方法1-1) 弱視の生徒は、iPad (BYODまたは学習用端末) でドライブにアクセスし、ファイルをダウンロード。UDブラウザまたはノートテイクアプリGoodNotesで開き使用する。



無償



有償
ただしApple School Managerを通じて、教育機関向けに無料で提供可能

(活用方法1-2) 全盲の生徒は手順が多くなるが、教育用パソコンやノートパソコン(BYOD端末)からアクセスし点字ファイルデータをダウンロード。

ノートパソコン上または所有のBrailleMemo(点字情報端末、後述)へデータを写すことで、利用可能となる。

BrailleMemoは単体としても、パソコンの点字ディスプレイとしても使用できる。

（活用方法2）自宅などでもファイルへアクセス可能なので、自宅学習も可能。

（活用方法3）課題プリントの提出も生徒から所定のフォルダへアップロードすることで可能。

（活用方法4）提出された課題プリントは、学習用端末で開き、ApplePencilで丸付けをし、再びドライブへアップデートしたり、直接生徒のiPadへAirDropしたりすることで、返却することができる。